



## 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年8月3日

上場会社名 ネクストコム株式会社

(コード番号: 2665 東証第2部)

(URL <http://www.nextcom.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 山本 茂 TEL:(03)5259-6111  
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理本部長 佐野 秋生

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

当四半期連結会計期間は、四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(単位: 百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年3月期第1四半期	8,110	—	549	—	629	—	352	—
平成17年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)平成17年3月期	42,542	—	2,925	—	3,069	—	1,671	—

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成18年3月期第1四半期	2,364	18	2,334	44
平成17年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)平成17年3月期	13,531	10	13,401	14

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比又は対前期比増減率を示す。

## 2. 期中平均発行済株式数(連結)

平成18年3月期第1四半期 149,308株 平成17年3月期第1四半期 — 株 平成17年3月期 121,781株

## 【区分別の売上高内訳】

(単位: 百万円未満切捨て)

	平成18年3月期 第1四半期		対前年 同期比 増減率	平成17年3月期 第1四半期		参考 平成17年3月期(通期)	
	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
システム系 ネットワーク	2,885	35.6	—	—	—	11,081	26.0
インフラ系 ネットワーク	4,798	59.2	—	—	—	25,752	60.5
ネットワーク インテグレーション	7,684	94.8	—	—	—	36,834	86.5
ディストリビューション	75	0.9	—	—	—	749	1.8
その他	351	4.3	—	—	—	4,958	11.7
合計	8,110	100.0	—	—	—	42,542	100.0

【経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等】

当第1四半期の日本経済は、IT関連分野における調整の動きや原油価格動向に対する懸念はあったものの、企業収益、個人消費、雇用情勢は改善し、設備投資も増加に転じました。

当業界に関しましては、通信事業者を中心にネットワーク機器投資に対する手控え感は見られたものの、コンタクトセンタ構築やシステムソリューション構築需要は底固く推移しました。

このような環境下、当第1四半期の受注活動は順調に推移し、前期第4四半期を上まわる受注額127億44百万円を達成いたしました。このような状況にあつて、モバイルキャリア向け大型システム保守案件、通信事業者向け基盤設備案件、モバイルキャリア向けゲートウェイ案件、及び複数の中規模コンタクトセンタ案件等からの音声ビジネスにおける交換機・付随工事売上等が好調であったことにより、当第1四半期連結会計期間における売上高は81億10百万円となりました。売上総利益に関しては、合併により売上総利益率が高い保守売上が大幅に増加したことや、交換機・コールセンタ関連ソリューション等において高い収益率を確保できたことにより、24億65百万円となりました。その結果、売上総利益率は30.4%となり、合併により企業収益性が格段に改善したことを示すことができました。営業利益は、合併による要員数増加により人件費は増大しましたが、売上総利益率の大幅改善により5億49百万円となり、経常利益6億29百万円、当四半期純利益は3億52百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(単位：百万円未満切捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成18年3月期第1四半期	26,890	16,089	59.8	107,578 16
平成17年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)平成17年3月期	31,266	15,755	50.4	105,407 54

(注) 期末発行済株式数(連結)

平成18年3月期第1四半期 149,557株 平成17年3月期第1四半期 — 株 平成17年3月期 149,248株

【連結キャッシュ・フローの状況】

(単位：百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月期第1四半期	1,638	△101	539	7,558
平成17年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)平成17年3月期	261	△615	1,506	5,482

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

(資産の変動について)

資産合計は、268億90百万円と前連結会計年度末に比べて、14.0%減少いたしました。

流動資産につきましては、現金及び預金20億76百万円及びたな卸資産12億76百万円の増加要因がありましたが、売掛金の回収等による受取手形及び売掛金62億28百万円の減少及び繰延税金資産2億60百万円の減少等があったことにより32億18百万円の減少となりました。

固定資産につきましては、差入保証金5億42百万円の減少及び繰延ヘッジ損失5億58百万円の減少等により11億57百万円の減少となっております。

(負債の変動について)

負債合計は、108億1百万円と前連結会計年度末に比べて、30.4%減少いたしました。

流動負債につきましては、前受金7億58百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金31億61百万円の減少、未払法人税等12億34百万円の減少及び賞与引当金7億71百万円の減少等により、41億66百万円減少しております。

固定負債につきましては、デリバティブ債務5億82百万円の減少等により、5億43百万円減少しております。

(資本の変動について)

資本合計は、160億89百万円と前連結会計年度末に比べて、2.1%増加いたしました。

なお、当第1四半期におけるキャッシュ・フローの詳細は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは16億38百万円の収入となりました。これは、たな卸資産増加による12億76百万円の減少、仕入債務31億7百万円の減少及び賞与引当金の減少7億71百万円等による支出があったものの、売上債権の減少69億87百万円等によるキャッシュ・フローの増加が上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1億1百万円の支出となりました。これは、メンテナンス機器等の購入による固定資産取得が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは5億39百万円の収入になりました。これは、短期借入金の純増額5億20百万円による収入が主な要因です。

[参考] 第1四半期個別経営成績等の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(1) 経営成績(個別)の進捗状況

(単位:百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年3月期第1四半期	8,110	62.0	438	126.4	522	126.1	292	112.1
平成17年3月期第1四半期	5,006	△12.4	193	30.4	231	8.5	138	11.8
(参考)平成17年3月期	42,172	28.3	2,668	58.5	2,808	57.3	1,562	62.8

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成18年3月期第1四半期	1,962	38	1,937	70
平成17年3月期第1四半期	1,259	81	1,247	70
(参考)平成17年3月期	12,636	85	12,515	47

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比又は対前期比増減率を示す。

(2) 財政状態(個別)の変動状況

(単位:百万円未満切捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成18年3月期第1四半期	26,501	15,934	60.1	106,545	62
平成17年3月期第1四半期	19,109	12,868	67.3	116,775	63
(参考)平成17年3月期	30,828	15,646	50.8	104,677	86

3. 平成18年3月期の業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

【連結業績予想】

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	28,000	1,197	701
通 期	69,000	4,905	2,883

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 19,276円93銭

【個別業績予想】

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	28,000	1,100	645
通 期	69,000	4,600	2,707

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 18,100円12銭

【業績予想に関する定性的情報等】

第2四半期以降は、第1四半期において順調に推移した受注を売上に結び付けると同時に、下半期を見据えて更なる案件獲得を目指します。合併初年度である今期は、早急なシナジー創出を実現すべく様々な施策を取ってまいります。その一環として、期初に立ち上げたコンサルティング室を中心とする、インフラネットワーク、アプリケーション及び関連サービスの総合提案アプローチの強化、並びにCRM等のシステムコンサルティングの商品化に注力してまいります。また、合併による営業力の融合を発揮することで、新規顧客の開拓のみならず、既存顧客に対しても、従来とは違う視点に立ったソリューション提案を通じて取引額の拡大を狙います。更には、ネットワークサービス部門を中心とした運用サービスメニューの拡充、現在注目のRFIDソリューションの拡販、ディストリビューションビジネスにおける注力商品の開拓等、多様な収益源の整備にも努めて参ります。

上記のような活動を通じて、引き続き収益性の高いビジネスを推進することにより、平成17年5月9日に発表しております平成18年3月期業績予想、連結売上高690億円、連結経常利益49億5百万円、連結当期純利益28億83百万円及び個別売上高690億円、個別経常利益46億円、個別当期純利益27億7百万円を達成すべく努力いたします。

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済・事業環境の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

(添付資料)

## 1. 第1四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		前第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度の 要約貸借対照表 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
( 資 産 の 部 )		%		%		%
I 流 動 資 産						
1. 現金及び預金	7,563,107		—		5,487,014	
2. 受取手形及び売掛金	6,596,737		—		12,825,080	
3. たな卸資産	5,891,925		—		4,615,596	
4. 繰延税金資産	714,378		—		974,513	
5. その他	350,867		—		421,732	
貸倒引当金	△13,963		—		△2,631	
流動資産合計	21,103,052	78.5	—	—	24,321,306	77.8
II 固 定 資 産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	339,772		—		352,641	
(2) 工具器具及び備品	1,540,443		—		1,577,765	
有形固定資産合計	1,880,215	7.0	—	—	1,930,406	6.2
2. 無形固定資産	226,064	0.8	—	—	231,630	0.7
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	77,033		—		77,573	
(2) 差入保証金	1,897,229		—		2,439,875	
(3) 繰延税金資産	537,726		—		539,066	
(4) 繰延ヘッジ損失	1,142,421		—		1,700,848	
(5) その他	27,155		—		25,798	
投資その他の資産合計	3,681,565	13.7	—	—	4,783,163	15.3
固定資産合計	5,787,846	21.5	—	—	6,945,200	22.2
資産合計	26,890,899	100.0	—	—	31,266,507	100.0
( 負 債 の 部 )						
I 流 動 負 債						
1. 支払手形及び買掛金	4,049,937		—		7,211,766	
2. 短期借入金	640,000		—		120,000	
3. 未払費用	1,005,542		—		1,151,115	
4. 未払法人税等	21,417		—		1,256,300	
5. 前受金	2,527,552		—		1,768,590	
6. 賞与引当金	141,906		—		913,054	
7. 品質保証引当金	36,350		—		37,000	
8. その他	275,975		—		406,856	
流動負債合計	8,698,682	32.4	—	—	12,864,684	41.1
II 固 定 負 債						
1. 退職給付引当金	525,069		—		518,049	
2. 役員退職慰労引当金	216,726		—		182,794	
3. デリバティブ債務	1,176,942		—		1,759,108	
4. 連結調整勘定	184,410		—		186,805	
固定負債合計	2,103,149	7.8	—	—	2,646,757	8.5
負債合計	10,801,831	40.2	—	—	15,511,441	49.6

(単位：千円)

科 目	当第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		前第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度の 要約貸借対照表 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
( 資 本 の 部 )		%		%		%
I 資 本 金	3,848,159		—		3,801,346	
II 資 本 剰 余 金	6,653,827		—		6,607,013	
III 利 益 剰 余 金	5,580,266		—		5,339,571	
IV その他有価証券評価差額金	7,649		—		7,969	
V 自 己 株 式	△835		—		△835	
資本合計	16,089,067	59.8	—	—	15,755,065	50.4
負債・資本合計	26,890,899	100.0	—	—	31,266,507	100.0

2. 第1四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)		前第1四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)		前連結会計期間の 要約損益計算書 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
I 売上高	8,110,746	100.0	—	—	42,542,402	100.0
II 売上原価	5,644,997	69.6	—	—	34,292,193	80.6
売上総利益	2,465,749	30.4	—	—	8,250,209	19.4
III 販売費及び一般管理費						
給料手当	838,392		—	—	1,933,576	
賞与引当金繰入額	152,261		—	—	519,049	
退職給付費用	70,838		—	—	119,294	
役員退職慰労引当金繰入	52,076		—	—	50,507	
法定福利費	131,850		—	—	355,065	
賃借料	215,361		—	—	436,627	
減価償却費	142,616		—	—	412,500	
その他	312,449		—	—	1,497,972	
販売費及び一般管理費 合計	1,915,846	23.6	—	—	5,324,592	12.5
営業利益	549,902	6.8	—	—	2,925,617	6.9
IV 営業外収益						
受取利息	5		—	—	4,272	
受取配当金	300		—	—	757	
為替差益	70,293		—	—	186,976	
連結調整勘定償却額	2,394		—	—	4,789	
その他	8,099		—	—	12,751	
営業外収益合計	81,093	1.0	—	—	209,547	0.5
V 営業外費用						
支払利息	437		—	—	1,272	
新株発行費	214		—	—	9,429	
その他	794		—	—	55,096	
営業外費用合計	1,446	0.0	—	—	65,798	0.2
経常利益	629,549	7.8	—	—	3,069,365	7.2
VI 特別利益	—	0.0	—	—	43,096	0.1
VII 特別損失	—	0.0	—	—	376,907	0.9
税金等調整前四半期(当 期)純利益	629,549	7.8	—	—	2,735,554	6.4
法人税、住民税及び事業 税	14,863	0.2	—	—	1,460,588	3.4
法人税等調整額	261,695	3.2	—	—	△396,066	△0.9
四半期(当期)純利益	352,991	4.4	—	—	1,671,032	3.9

3. 第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第1四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)	前第1四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)	前連結会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	629,549	—	2,735,554
減価償却費	144,278	—	427,429
投資有価証券評価損	—	—	52,645
固定資産除却損	—	—	73,302
投資有価証券売却益	—	—	△14,186
連結調整勘定償却額	△2,394	—	△4,789
たな卸資産廃棄損	—	—	36,846
貸倒引当金の増減額（△は減少）	11,331	—	△49,211
賞与引当金の増減額（△は減少）	△771,148	—	394,685
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△71,989	—	22,095
受取利息及び受取配当金	△305	—	△5,029
支払利息	437	—	1,272
売上債権の増減額（△は増加）	6,987,264	—	△2,011,764
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,276,328	—	1,795,035
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,107,224	—	△1,186,814
未払消費税等の増減額（△は減少）	△125,751	—	△75,679
差入保証金の増減額（△は増加）	542,646	—	△384,393
役員賞与の支払額	△26,900	—	△20,800
その他	△26,978	—	△711,595
小 計	2,906,487	—	1,074,602
利息及び配当金の受取額	305	—	5,203
利息の支払額	△682	—	△1,277
法人税等の支払額	△1,267,376	—	△816,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638,733	—	261,869
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	—	—	△300,000
定期預金の解約による収入	—	—	310,000
有形固定資産の取得による支出	△93,677	—	△668,447
無形固定資産の取得による支出	△17,320	—	△26,633
投資有価証券の売却による収入	9,000	—	41,111
その他	—	—	28,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,997	—	△615,252
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	520,000	—	△160,000
社債の償還による支出	—	—	△10,000
株式の発行による収入	93,627	—	1,784,452
自己株式の取得による支出	—	—	△835
配当金の支払額	△74,624	—	△107,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	539,003	—	1,506,576
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	354	—	△147
V 現金及び現金同等物の増加額	2,076,093	—	1,153,045
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,482,514	—	3,260,739
VII 合併及び新規連結に伴う現金及び現金同等物の受入高	—	—	1,068,728
VIII 現金及び現金同等物の四半期（当期）末残高	7,558,607	—	5,482,514